



約 1400 年前につ  
くられた立野 4 号  
墳の姿をぜひ見  
きてね！



### 【企画展「立野4号墳 甦る松阪の後期古墳」開催中！】

今回の企画展では、平成25年夏に発掘された立野4号墳について展示します。

立野4号墳は中部台公園内にある古墳で、古墳時代後期のものと考えられます。このたび、配水池築造工事にさきだって発掘調査がおこなわれました。発掘によって3基の埋葬施設が発見され、そのすべてが未盗掘の状態でのこっていたことが判明しました。埋葬施設が未盗掘の状態で見られることはめずらしいことです。古墳がつくられた当時の副葬品や遺体の安置位置が、そのままのこっているという点で学術的にも貴重なものといえます。4号墳からは鉄剣や土器類、遺体につけられていたと考えられる首飾りなどがみつかりました。

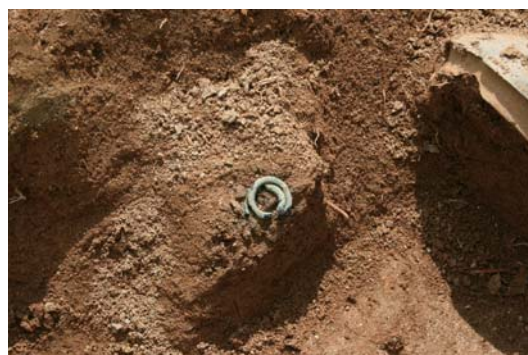
又、期間中には、市民講座【3月8日(土) 13:30~14:30 第3ギャラリー】としまして、実際に発掘にたずさわった松阪市文化財センターの学芸員が、発掘の様子などをくわしくお話ししますのでぜひおこしください。(担当)



埋葬施設 (棺のあと)



鉄刀



耳環 (イヤリング)



土器類

### 【こころに伝わるメッセージ】

きしゅう しし つうじょう か たてまつ  
歸州の刺史に 通状に代えて上る 二首の二

かいしゆん  
懷濟

家は 閩山の 西の 復た西に在りて  
其の中 歳歳 鶯の啼く 有り  
如今 鶯啼の處に在らざるも  
鶯は 舊時 啼きし處に在りて 啼く



くふるさとの家は、閩山の西の方のそのまた西にある。そこでは毎年ウグイスが鳴く。(でも) わたしは今、ウグイスの鳴くところにはいない(のだが)、ウグイスは、昔、鳴いていたところで、(今も変わることなく) 鳴いている(ことだろう)。>

懷濟が歸州であらぬ疑いからとらえられた時、弁明書に代えて2首の詩をよみ長官にさしだした。それをみた長官は懷濟がただものでないと感じ彼を釈放した、とのエピソードがこの1首です。この詩は漢詩の様々なきまりによらずつくられています、詩の趣はそこなわれることなくあらわされています。そして、声にだしてよむときは直読(返り点によらないで、語句の順にしたがってそのままによむこと)するのがよいとされます。

家在(かざい) 閩山(びんざん) 西(せい) 復西(ふくせい)。  
其中(きちゅう) 歳歳(さいさい) 有(いう) 鶯啼(おうてい)。  
如今(じょこん) 不在(ふざい) 鶯(おう) 啼處(ていしょ)。  
鶯在(おうざい) 舊時(きゅうじ) 啼處(ていしょ) 啼(てい)。

お経のようなかんじですが、ほんとうの悟りは心からこころへダイレクトに伝わるもので、詩のきまりなどの形式によるのではないという、禅宗の教え(不立文字)がこめられたものといわれています。

文化財センターでは、ご案内のとおり現在、企画展「立野4号墳~甦る松阪の後期古墳~」【2月1日(土)~3月23日(日)】を開催しています。未盗掘の古墳からの、こころに伝わるメッセージがあるかもしれませんので、おみのがしなさいませぬよう。

懷濟 唐代(618~907)の僧侶(所長)



### 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 2月の催し物予定



2月の休館日は、3日(月)、10日(月)、12日(水)、17日(月)、24日(月)です。

開館時間は9時~17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料 100円 (18歳以下無料)

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「立野4号墳 甦る松阪の後期古墳」 2/1(土)~3/23(日)

第2展示室 ■ミュージアムトーク(展示解説) 2/1(土) 13:30~14:30

第3G ■市民講座「立野古墳群発掘調査日誌」

3/8(土)13:30~14:30 聴講無料 事前予約不要 先着60名まで 講師:松阪市文化財センター学芸員

【ギャラリー】 入場無料

第1G ■陶嬉の会 作陶展 2/2(日)~2/9(日) ※毎日10:00から、最終日は15:00まで

第2・3G ■南勢地区高等学校美術展 2/9(日)~2/16(日) ※最終日は15:00まで

第1・2・3G ■公民館まつり 作品展示会 2/21(金)~2/23(日) ※毎日16:00まで

バーコード読み取り  
(文化財センター情報)